

東由利町報

No 281 昭和53年 8月1日発行 昭和42年 7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



No 281

8
/ 1

《急ピッチで進む農地造成》

羽後町との境、松柴の田の沢地区10haの農地（葉たばこ畑）造成地。

ここは、伐期に達していた官行造林地を契約解除し、第二次農業構造改善事業で葉たばこ畑を造成することにして昨年より伐採に入り、今春には抜根、現在は12台のブルドーザーで切り土、盛り土工事を行っている。

このあと、階段状に畑を造成、整地仕上げ等を行ない9月末には完成の予定。

六月定例議会

一般 二十億五千万円台に 会計

町議会第六回定例会は、七月一日に招集されました。開会に先立ち町長の町政報告があり、続いて会期を同日一日限りと決定し、二議員による一般質問のあと、昭和五十三年一般会計補正予算など報告一件を含む十五案件を審議、いずれも原案どおりに可決しました。

そのあと、四件の陳情案件を審議、さらに議会常任委員会委員の改選及び委員長、副委員長の選任が行なわれ閉会しました。

町政報告と一般質問の要旨および議決された案件等は次のとおり。

町政報告

建築工事中心に報告

限度数量
配分は
各農家の実態を考慮

すでに七月にはいった訳です。四月一日以降の町政の報告を申し上げます。今回は、建築工事の発注状況、それから米の限度数量の割当て、七月五日には副知事が町村訪問されますのでその概要等を報告申し上げます。

建設工事の方は、建設課所管の方を最初に申し上げます。います。

建設課関係

町道改良事業は九カ所四千八百万円発注しています。町道舗装事業は四カ所二千九百万円を発注しています。林道改良事業は二カ所、内四十二年の債務負担でやりました杉森線もはいつています。二カ所で千六百七十万円を発注しています。林道の

根小屋線の改良事業が千四百四十二万円、これは丸重さんが請負ったもので、畠幸建設が請負ったものが五千百十万円、軽井沢線は大沼組が五千十万円、石高農道は吉田工務店が千八百八万円、大琴地区の流雪溝は木内土建が二千七百十五万円、神岡坂部横渡線が大沼組で五千三百四十万円、金山線の改良事業は大沼組で八千二百四十万円、橋は三浦組が二千五百九十万円、治山の方は、沼山が畠幸建設で千三百二十万円、桃台が長瀬建設で九百九十五万円、地すべりの安堵地が奥山ボウリングで九百万円。以上でございます。

尚、河川の復旧災害もありますが、これの情報がまだ整理されておきませんので、この次の機会にご報告申し上げたいと思います。

産経課関係

次に産経課関係の工事の発注状況は、ミニ総バが、上の台の

圃場整備、宿の大堰の揚水機、用水路が発注されています。二次構造改善は契約の承認で議案に出ています。板戸の圃場整備が三千九百三十万円、田代のたばこ畑の造成が四千四百万円、田の沢の造成が四千九百六十万円、多目的研修センターがこのまゝ議決された内容になっています。それから県営関係の方は、県営圃場整備の第三換地区が大沼組で五千三百三十万円、第一換地区も同じく大沼組で五千二百四十万円です。これは全体で四億の予算でありますので今後まだ発注が出るわけであり、多少取り落しもあると思います。以上が現在の発注状況でございます。

それから、米の限度数量の割当は六月二十四日付けで各個人への割当てを決定致しました。配分の内容を簡単にいいますと、数字的に、つまり五十三年度の基準収穫量から保有米を引いて出した数字を七割、それから各農家の実態を調査しましたものが三割、そういう具合に内容をみまして割当てをした次第です。

このあと七月五日の副知事訪問の日程等について説明。これで町政報告を終わります。

可決された案件

〔国民健康保険条例の一部改正〕

所得額や資産税を基数に、五十三年度の国保税を賦課するために必要な税率に改正したもので、所得割が百分の五・四二を

百分の四・九五に、資産割が百分の三八・一四を百分の三五・二三に、均等割（一人当たり）が九千二百二十円を九千七百二十円に、平等割（一世帯当たり）が一萬六千二百五十円を一萬六千七百六十円にそれぞれ改正され、課税最高限度額も十七万円が十九万円に引きあげられた、などが主なもの。

〔国民健康保険条例の一部改正〕

国民健康保険組合の所屬だった保健婦が本年四月一日から一般行政職員に移行したことに伴う改正と、助産費の支給条件の改正が行われた。

〔黒淵診療所使用料等徴収条例の一部改正〕

昭和三十一年からの使用料等のカ、具体的には各診断書、諸証明書、身体検査書、検案書、診療券の手数料がそれぞれ現実に合うように引き上げられた。

〔災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正〕

災害弔慰金の額及び災害援護資金の限度額等がそれぞれ引き上げられた。

〔高齢者等肉用牛飼育事業貸付牛購入基金条例の制定〕

高齢者等による肉用牛の飼育を促進することにより、肉用牛資源を確保し、高齢者等の福祉向上に資するとともに、貸付牛の適正かつ効果的購入を図るもの。

〔東田利町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正〕

給与の年額が次のように改正

された。

- ・団長 四万三千元
- ・副団長 三万三千元
- ・分団長 二万六千元
- ・副分団長 二万一千円
- ・部長 一万六千元
- ・班長 一万三千元
- ・団員 一万二千元

〔東田利町特別土地保有税審議会条例の制定〕

特別土地保有税に係る納税義務の免除に関して、必要事項を調査、審議する為に設置するもの。

〔昭和五十三年一般会計補正予算（第三号）〕

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億二千四百九十四万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十億五千八百一十六万六千円とした。

- ・主な歳出予算は次のとおり。
- ・職員貸与被服費百九万六千元
- ・在席標示装置設備工事費百三十五万円
- ・庁内放送器具費及び庁用備品費百三十一万五千円
- ・広域行政センター建設費負担金三十二万五千円
- ・高校前舗装工事費四百万円
- ・簡易給水施設費補助金（高村、黒沢、奥ヶ沢）百八十八万三千元
- ・出稼健康診断費補助金十二万七千元
- ・水田利用再編対策現地確認等事務費十四万二千元
- ・農業総合指導センター巡回自動車設置費百二十七万九千元
- ・集団営農用機械設置費補助金六十三万二千元
- ・団体草場開発整備事業費一千七百七十八万五千円
- ・田園畜舎設置費補助金百二十万円
- ・高齢者等肉用牛飼育事業貸付牛購入基

金へ繰出し八百四十万円・二次農構田の沢農地造成事業費他六千四百四十二万二千円・ミニ総バクト地区ほ場整備事業費他八百九十二万三千円・高村、黒沢、奥ヶ沢簡易給水施設設置費三千二百七十八万二千円・交通区画線引工事費八十八万九千円・葎沢線設計委託料百二十万円・第二分団消防機械置場工事費百八十万円・中学校前庭舗装事業設計委託料四十万円・同校門工事費百二十万円・八塩山歩道整備事業費五十二万八千円・湯出野遺跡保存事業費四十二万六千円・横渡グランド整備事業費三百五十一万円

〔昭和五十三年簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)〕

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ三百二十七万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二千五百六十七万七千円とした。

〔板戸地区ほ場整備事業工事請

八日町・稲荷神社前広場に

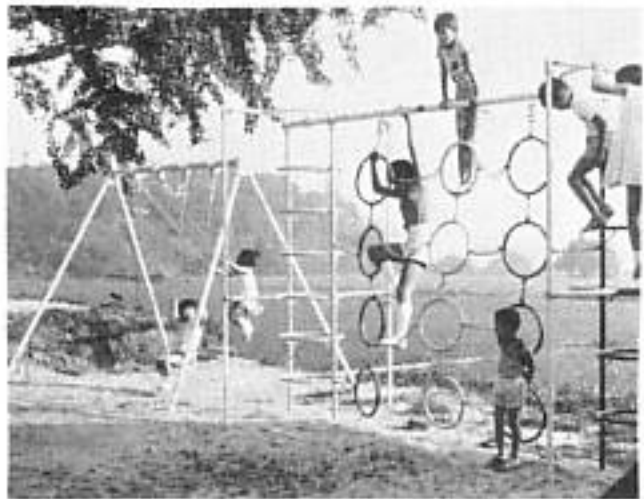
鉄棒など五種の遊具設置

先ごろ八日町部落の稲荷神社前広場に、すべり台など五種類の遊具が部落全戸の労力奉仕で備え付けられ、連日元氣な子どもたちのはしゃぐ声でいっぱい

これは、県単独補助事業の「児童遊園地設置事業」で備え付けたもので、遊具代四十五万円の内、二十万円は県で、二十五万円は町でそれぞれ補助し、部落で設置したものです。

道路で遊んでいた子どもが車にはねられたという話があちこちで聞かれる昨今、この遊園地が交通事故防止に役立つことはもちろん、地域の子どものための小さい頃のよき思い出をつくり「夢」を与える場となつてほしいものです。

設置された遊具は次のとおりです。



元気に遊ぶ子供たち

- ・中型すべり台 一基
- ・二人三却ブランコ 一基
- ・三間中鉄棒 一式
- ・リングチェーン 一基
- ・ロケットジム 一基

質一問般

二議員が当局の考えを問う



八塩山に係ることを中心に

七項目を問う

小松豊議員

〔質問〕私は主として八塩山に係る問題を皆さん方に訴え、町の考え方を問う。

①八塩山の登山道整備と同時に付近の官行造林を町が提案し

て間伐、除伐等手入れをし、我々の子孫のために、我々の遺産として残したいが。

②鳥井の沢の道路は、昨年も地域住民から陳情が出ており、

加えて南の沢の造成も行われることになったことで、極めて重要な路線と思う。この道路整備について現在の進み具合と、これを早急に整備することについて伺いたい。

③いこいの森と八塩ダム一帯の観光を考えた場合、ダムの内水面漁業権を町民全体のものにしたいと思うが。

④ダムという名称でなく、公募するとして町民がもっと親しめるような、誰れもが行ってみたいような名称を考えたらと思うが。

⑤町道高戸屋線の改修については五十二年年度の広域圏の事業計画にもつており、昨年も申し上げたが、まだその様子は伺えないがどうか。

⑥現在まで取り入れている多くの国・県の補助事業が、点から面に広がらないこのような事実の上に、何か対策を考えているか。

⑦最近、町内でヤマメの稚魚を、県の漁業組合を通じてある町村から二万匹を購入したところ、実際は七千匹しかおらず、交渉の末戻したという事実があるというが、その事実関係と、稚魚購入の指導と協力について伺う。

町長 ①官行造林については町としても今後残していく方向で検討していきたい。除伐、間伐については町独自でする必要はないと思う。必要に応じて営林署が行うと思う。

②鳥居の沢の道路についてはおよそ四千二、三百メートルあるわけだが、三千メートルについては新しい開拓道路整備事業として整備してもらおうという国県に要請・検討している。残り千メートルについてはそれぞれ工夫をして、町道、農道というようにことで解決をつけていきたい。

③八塩ダムの内水面漁業権については、どういう契約が当事者の間であるかわからないのでよく調査させ、お互いに検討して町民の期待に沿うような方向であの水面を生かしていきたい考えは同感である。

④ダムの名称も、何かしら地域にふさわしい観光的な名称が

青少年の健全育成など

二項目に質問

長谷山直助議員



〔質問〕①県営園地整備の始まった時に、議会の建設委員会と当時の建設課長との間で町道の方線に対する合議があったが、実施段階になってあまりにも変わりすぎた。変えた場合、議会

必要と思うので、指適されたようなものを解決する過程においてそういうことも考えるのが新しい方向と思われまますので、これも賛成である。

⑤高戸屋線の改修については町でも検討するが、地元でもよく検討してもらい、本年中に施工の方向を決めたいと思う。

⑥このことについては、例えば養蚕等は一部を除いて委縮の方向にあるわけだが、それに類するものをどういうふうな取り扱いをするかという二つの方法があり、当事者の意向を基本とし、打ち切りにして別の新しいものに変えていくことと、尚一層町が手当をして盛り上げていくという方向もあるわけで、一つ一つの具体的なものについて検討を加えていきたい。

産経課長 ⑦内水面の稚魚の購入に際しては確かにそういう事実があったが、それにかわるべき稚魚については他のふ化場から一両日中にはいることになつており、全体的な養殖計画には支障がない。今後、このような指導をさらに加えてゆく。

伺いたい。当町での青少年の健全育成についての良策があったら、考えていたなら、客観的にみてどうか。

助役（建設課長退席中の為、代わって答弁） 町道の方線は、部落に通じていくことでは全面的に変ったとは思わない。県圃地内で全体計画時と変ったのは黒淵線と高戸屋線である。

黒淵線は、自動車を主体とする道路なので、県道及び野中線との交差の関係で変更になった。

高戸屋線は、当初吉川さんの所のすぐそばから入る予定だったが、その地区の人が県圃から除外してもらいたいということとで、旧道拡幅に変わっている。

町道は、除雪、消防車、大型機械というものを考えて、車道

幅員四尺、全幅五尺の道路計画ですが、県圃ではそこまで構築はしていただけないので、その上にかさあげをして全幅五尺に結ばるように計画実施している。

教育長 ②青少年健全教育の特効薬がないのが悩みであるが、社会教育は、学ばせかけを与えてやる、学び方を指導援助してやり、仲間づくりをしなが

ら連帯感を深めさせるものと考えている。

例えば、高校生を持つ親の会、ヤングチャレンジセミナーなど各講座や行事等を通して、また、当町のいい森や、自然の山にあるいは、町民体育館等を整備して、青少年健全育成に努めたいと考える。

第二十三回町畜産共進会

肉・乳牛とも運動不足が指摘

真紅の優勝旗は 大琴畜産改良組合の手に

恒例の町畜産共進会は今年で二十三回を数え、六月三十日、館合字上の台、旧玉米中グラ

ンドで開催されました。今年から新たに、団体賞の町長賞として、まん中に牛の顔を刺しゅうした縦六十センチ、横九十センチの真紅の優勝旗を、また農協長賞として高さ五十センチ

の金色の優勝杯をそれぞれ準備し、より一層の盛会を期した。昨年より二十頭も多い八十六頭が出陳、出陳者はもちろん、出陳しなかった飼育農家も多数詰めかけ、真剣な眼差しで牛を見つめ個体解説に聞き入り、例年にないにぎわいをみせていました。中には矢島町からわざわざ見

情二件は採択

陳二件は継続審議

このほかに議会に対して陳情された、寺田部落内道路改良舗装工事については継続審査に、松台部落にいたる道路の改良については採択、旧祝沢分校校舎を部落集会所として使用させていただくことについては採択、教職員定数の抜本的改正をするため関係省庁へ意見書を出していただくことについては継続審議とし、教育民生委員会に付託しました。

常任委員を改選

最後に議会常任委員会委員の改選と各委員長及び副委員長の

選任が次のように行われ閉会しました。

※◎印は委員長、○印は副委員長です。

〔総務委員会〕◎小松与惣雄、○長谷山二郎、阿部剛、梅津三雄、長沢毅、（欠員一）

〔教育民生委員会〕◎川尻幾郎、○長谷山喜一郎、遠藤正男、長沼久男

〔産業経済委員会〕◎藤原虎之助、○長谷山直助、伊東庄一郎、小野昭一

〔建設委員会〕◎小松豊、○小野作右エ門、遠藤治郎助、小野要造

います。

また、本町の畜産飼養技術は郡内はもちろん、県内でも高い水準にあるといわれ、町としても農協や関係各団体とも協力し島根牛を導入したり、繁殖素牛の五代祖まで調査し基礎牛の改良と飼養技術改善と合せ、畜産東由利を確立しようとするに力を入れていくことにしています。

今回出陳された内訳をみると和牛六十四頭（育成牛十六頭、若牛十三頭、成牛二十一頭、県外導入牛十四頭）、乳牛二十二頭（ジャージー種九頭、ホルスタイン種十三頭）で、いずれ劣らぬ自慢の牛が勢ぞろいしたその様は頼もしい限りでした。審査にあたった佐藤重雄（本

町長日記

○夏の極暑の時期を「三伏の候」と言う。今年は暑さが早かった。稲熱病が心配されたが懸命の防除と其後の天候で押さえられており今後警戒の必要

○本年度予算で購入した消防器材、自動車ポンプ一台積載車付ポンプ二台、可搬式ポンプ二台の入魂式

○軽井沢農免道路、根小屋農免道路、大琴ミ二総バ事業の起工式。農免道路の二線は一〇七号線で連結するため一本の路線の形態になる。一口で言うとお大吹川の矢島館合線より分岐して、黒沢線の太内町境界附近迄、最終の構想として一〇キロ（二里半）を幅員七米、舗装幅五・五米の大型農道を新設しようとするものである。本年度既に一億八千八百万の予算がついており。本路線は本町の開発に貢献するばかりでなく、出羽丘陵と島海北麓をドッキングする有力な路線となり得るものと考えている。

○本年度畜産共進会も快晴に恵まれ出陳頭数八六頭（昨年は七十一）の盛会となった。町としては、現下の情勢から

当業者の立場に立つて最善の努力をする考えである。

○副知事の町村訪問 毎年行われる、県の町村訪問は今年も副知事が来町された。例年と異った点は、道路改良、畜産関係の現地視察をした事である。法内地区では白沢峠を越えて大森町地内迄入って現地視察をし、繁殖牛肥育牛の実地視察を視られた。本町よりの要望事項は

1 国道一〇七号線蔵地区改良工事の促進
2 湯出野線の舗装事業に対する補助
3 杉の良質材生産促進事業費の予算枠拡大
4 山崎鴻屋十文字線の改良工事促進

○本荘市由利郡公民館大会が開かれた。会場に当られた有隣館の設備に対して大方の評価を頂いたが、大会会長である、梅津本荘市公民館長より、有隣の意義「徳は孤ならず必ず隣有り」の説明があり、館名の評価を頂いた。

陰暦六月の中に大暑という日を置いた。陽暦だと、七月二十三、四日に当る。



夏の防犯と事故防止

被害にあったら110番

先月二
十一日か
ら今月二
十日まで
夏の防犯
運動が行
われてい
ますが、
暑くなる
と心身と
もに開放
的となり
空巣、こ
どもの水
による事
故、ち漢
などが多
く発生し
ます。

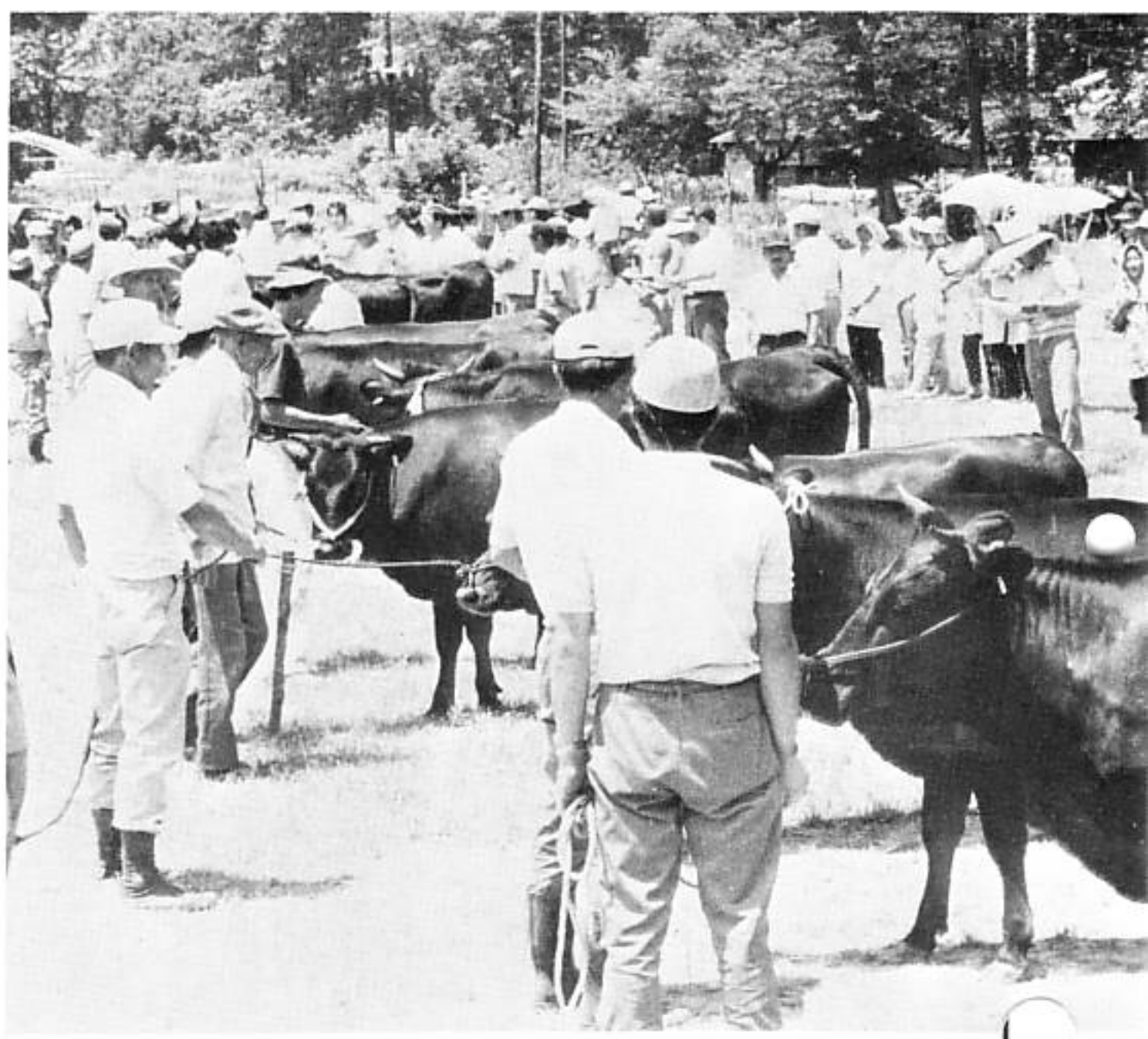
次のことについてみなさんの
注意をお願いします。

**空巣とち漢の
防止について**

一、午前十時頃から午後四時頃
までの時間帯に一番多く被害
を受けています。家をあける
ときは、玄関だけでなく裏口
等についても「戸締りとカギ
をかける」習慣をつけましょ
う。

二、女性の服装が開放的になる
と「ち漢」にねらわれる大き
な原因になります。又、女性
の一人歩きは非常に危険です
から回り道でも明るい道を通
りましょう。

いずれ劣らぬ自慢の牛が勢ぞろ
いした様は、頼もしい限り。



荘農業改良普及所) 審査委員長
は「…全体として非常によく粒
がそろってきている。まさに紙
一重というところで優秀つけが
たく、俗にいう審査員泣かせで
した。肉牛については、運動不
足から足、腰の弱い牛が目立ち
ましたので粗飼料給与と合せて
十分な運動により解決してもら
いたい。

昨年からは県外牛を導入し、今
年もその計画があるということ
ですが、その牛の特質を十分理
解して改良、良質牛の生産に努
めてもらいたい。

ホルスタイン種の若牛は大型
化の傾向にあるが、濃厚飼料の
与えすぎと、また運動不足が見
受けられました。経産牛につい
てはその牛の長短所をよく把握

夜寝苦しいため、戸や窓を
開放しておくことは特に危険
です。戸締りを確認してから休
みましょう。

少年の非行防止と 危険な遊びによる 事故防止について

一、夏休みという開放感から海
水浴場、キャンプ場等におけ
る喫煙、飲酒、不純異性交遊
シンナー、薬物乱用などの非
行が目立ち、家出をする者も
多くなります。こどもの行動
には十分注意しましょう。

二、花火遊び、又は水遊びをす
る機会が多くなり、火災や火
薬による爆発事故、或いは水

した上で改良につとめてもらい
たい。

ジャージー種は大型化になる
とともに資質もよくなってきた
いる。今後はジャージー種のよ
さを残しながら改良していくよ
うにしていきたい。尚一層の
努力を期待します」と講評しま
した。

上位入賞者は次のとおり。

※ ○内席次、所有者敬称略

〔黒毛和種育成牛区〕

▽一等賞

①つぎよし号 大場惣七(久
保) ②第二まさひめ号 高橋

時郎(久保)

▽二等賞

①佐々木善一郎(大琴) ②
阿部光四郎(横渡) ③阿部初

三(杉森)

死等の大きな事故になるお
それがあります。こどもに
安全な遊び方を指導しまし
よう。

こどもさん方のことをご相
談がありましたら警察署の「
少年係」又は「駐在所」など
にお話し下さい。

また、被害や事故にあった
とき、あやしい者を見つけた
ときは最寄りの電話から一一
〇番して下さい。

本庄警察署



〔黒毛和種若牛区〕

▽一等賞

①ふくなみ号 佐々木藤喜(大琴)

▽二等賞

①畑山喜一郎(館合新田)

②佐藤好男(津沢)

〔黒毛和種成牛区〕

▽一等賞

①いたひめ二号 八島俊雄(黒淵) ②たにひめ七号 佐藤

末五郎(蔵新田) ③さつき号 佐藤謙(寺田)

▽二等賞

①小笠原正作(土場沢) ②高橋五助(久保) ③佐々木善一郎(大琴) ④大日向小吉(宮の前)

〔ジャージー種〕

▽一等賞

①ウイローロマンズジェスタ1号 畑山克司(島)

▽二等賞

①畑山克司(島)

〔ホルスタイン種若牛区〕

▽一等賞

①フイーンランドカウントウエイン号 大庭喜右工門(舟木)

▽二等賞

①伊東勝見(蔵新田)

〔ホルスタイン種成牛区〕

▽一等賞

①ヘンガーヘルドタレントフオーブス 伊東勝見(蔵新田)

▽二等賞

①伊東隆(蔵新田)

〔県外導入牛区〕

▽一等賞

①よしさかえ号 畑山藤作(土場沢) ②ほしはる二号 小笠原正作(土場沢)

▽二等賞

①千葉寛太郎(島) ②高橋一雄(松紫)

〔特別賞〕

・いたひめ二号 八島俊雄(黒淵) ・よしさかえ号 畑山藤作(土場沢)

〔団体賞〕

●肉用牛(東由利町長賞)

●乳用牛(東由利農協長賞)

●大琴畜産改良組合

●蔵地区

共東由利牛の 郡真価を発揮

七月十三日、本庄家畜市場構
内で開催された第十四回由利畜
産共進会には、町共進会の上位
入賞牛十二頭、及び高等登録群
一組(三頭)が出陳され、厳し
い審査の結果、一組、九頭が上
位入賞を果たし団体賞肉用牛の
部でも二位となりその真価を発
揮しました。

郡共進会での本町上位入賞者
は次のとおり。

〔和牛高等登録群区〕

▽優等賞 下田三太郎

〔黒毛和種若牛区〕

▽一等賞 畑山喜一郎

〔ジャージー種の部〕

▽一等賞 畑山克司

〔団体賞(肉用牛の部)〕

二位

また、これと合せて多産牛(十産以上)表彰も行われ、本町の佐藤徳四郎さん(泡の淵)所有のたき四号も表彰されました。

法内線ほか四カ所現地視察

＝107号蔵工区改良促進など要望＝

副知事
来町



法内線を視察する一行
(白沢峠で)

知事自らが県内各市町村に赴き、県民のなまの声を聞き、県政に反映させることをねらいとした「知事の市町村訪問」は今年も行われ、七月五日、佐々木副知事が阿部地方課参事ほか出先機関の所長ら八名(由利地方部長・同地方部主幹・同県税事務所長・同福祉事務所長・同農林事務所長・同土木事務所長・本荘農業指導センター所長・本荘保健所長)とともに本町を訪れ、法内線ほか四カ所の現地視察をしたあと、町開発センターで町長以下町執行部、教育委員、議会関係者、各種団体長など約六十人と懇談しました。

午後一時四十五分、大琴に着いた一行は町長の出迎えを受けるとともに根小屋・軽井沢両農免道路について説明を受け、起点付近を視察しました。

続いて工事中の法内線を視察、ここで副知事は、予定の小倉から郡境の白沢峠まで足を延ばし、未改良部分を直接自分の目で確かめるとともに、遠藤兵一さん(小倉)ら地元住民から同線の改良促進について陳情を受けました。

このあと、法内集落農場、肉用牛生産団地山崎繁殖センター、同下小路肥育センターを視察、午後三時十分、町開発センターに到着、待っていた各団体役員らと活発な懇談を行いました。

懇談会では、佐々木副知事の県の重点施策等、訪問の趣旨説明をかねた挨拶のあと、阿部地方課参事から前回(五十二年八月)訪問の際の要望事項の措置状況について報告があり、続いて町長が、一〇七号線蔵工区の改良促進などの要望事項について説明を行い、県側からはそれぞれ積極的に対処するとの見解や回答が寄せられました。

続いて、自由懇談にはいり、町側参加者からは、米の消費拡大策、水田利用再編対策推進の上での土地盤整備に対する補助率のアップ、あなほ道路の補修、未改良県道の早期改良、大湯村の転作問題、繁殖雌和牛保留対策などについて活発な質問、要望が寄せられました。

このたび町が要望した事項、及び県側からの回答概要は次のとおり。

国道一〇七号線蔵地区の改良調査は昭和五十二年度において調査いただいたが改良計画されている延長二八〇〇メートルについて、昭和五十三年で用地買収を完了され、昭和五十四年度からは是非改良工事に着手されるよう特段のご配慮をお願いしたい。

答 国庫予算のルールで初年度の額は三千万円となっている。

五十四年度以降は、大中な予算獲得を目指して国に対し、強力に要請していく。

尚、用地買収については特段の御協力をお願いしたい。

一級町道湯出野線は、県道老方沼館線寺田地内から分岐し、国道一〇七号線八日町地区に通ずる唯一のう回路であるため、昭和五十四年度において舗装したいので、補助の予算化について特段のご配慮をお願いしたい。

答 五十四年度国庫補助対策事業として採択してもらうように国に働きかけていく。

木材需要の動向に対応した良質材生産の推進事業として、枝打ち促進事業の県単補助制度が施行されているが、市場価格の高い良質材生産意欲の高揚と相まってこの事業に対する要望も高くなっており、これが予

算棒の拡大に特段のご配慮をお願いしたい。

答 従来は造林事業について重点を置いていたが、県の第四次総合計画では保育事業に重点を置き、良質材生産に努力していく計画である。

また、森林組合の育成を図るとともに、県森連とも協議し、段階的に予算の拡大を図っていききたい。

県道山崎鴻屋十字線は五十三年度において、国道一〇七号線接点から山崎地内四四〇メートルが改良されますが、その続きから五十二年度改良された田屋橋の間二二〇メートルが未改良として残るので、全区間を改良されるようお願いしたい。

答 県道路課とも協議し、要望に沿うよう努力する。

町成人式は八月十五日に

今年の町成人式は、八月十五日に町開発センターを会場に、次の日程で行われます。

今年の成人式の該当者は、百八十一名です。

公民館では、対象者の方々に案内状を出していますが、今年成人となった方で案内状が届かないようなことがあった場合には、公民館にお問い合わせ下さい。(電話二三二一)

午前八時 受付開始
九時 式典
十時 記念講演
講師 三共株式会社発酵研究所第三室長・農学博士 遠藤章氏(本町小倉出身)
十一時三十分 記念撮影
十二時三十分 昼食交換(二十才の顔一人記念写)

八月五・六日 在町成人宿泊研修

また、八月五・六日には「在町成人宿泊研修」が朋楽荘で開かれます。在町の方には案内状を差し上げていますが夏休みなどで帰省している該当者の方々もぜひ参加して下さい。



真撮影

農免農道（根小屋・軽井沢線）
大琴地区ミニ総パ事業

盛大に起工式挙行 関係者百三十名が出席

農免農道軽井沢・根小屋両線及び農村基盤総合整備事業（大琴地区ミニ総パ）の起工式が去る六月二十八日、県、町関係者工事関係者、住民代表者ら約百三十人が出席し、根小屋線大琴上の台地内で行われました。

軽井沢線（袖山線）は今年から、総事業費三億四千二百万円を投じ、大琴から大吹川まで五

二六〇メートルを全幅七メートル、車道幅員五・五メートルに改良舗装するもので、今年度は八千五百五十万円で舟打場地内一、〇四〇メートルが改良されます。

また、根小屋線・ミニ総パ事業は昨年からの事業を実施しており、今年度は根小屋線が一億円で、七四〇メートルを改良、ミニ総パは六千六十万円で、圃



起工式を終え町開発センターで祝賀式

場整備（六・六〇）・揚水機、用水路、農道等が整備される計画です。

このほか大琴部落内では、積寒道路整備の一つとして本町では初の流雪溝建設工事も行われており、大琴を中心とした宿地区は、これら生産基盤整備、生活環境整備により、今大きくその姿を変えつつあります。

進藤町教育長

広域教育委員会に組合

本荘由利広域市町村圏組合では、本年四月から本荘由利視聴覚教育センターを設置し、市町村の視聴覚教育に関する事務の一部を共同で行ってきておりますが、これに伴って組合教育委員会

の設置が必要となり、去る七月三日の組合議会において本町の進藤教育長ら五人の教育委員人事が管理者から提案され、満場一致で同意決定、次の方々が同日付で、管理者である佐藤本荘市長から任命されました。

井上英二（象潟町教育委員）
岡部進一（大内町）
佐藤彌太郎（矢島町）
進藤 新（東由利町）
八嶋敬太郎（本荘市）

（敬称略）

尚、当日任期満了に伴う組合監査委員についても提案され、満場一致で次の方が同意決定、再任されました。（敬称略）
池田金之助（本荘市監査委員）

また、七月八日、管理者招集のもとに初の教育委員会が開かれ、委員長、同職務代理者を互選したのち、教育長、視聴覚教育センター施設長を任命決定したほか、委員会関係規則六案件を制定議決しました。

〔決定した人事〕（敬称略）

教育委員長 井上英二

同職務代理者 岡部進一

教育長 八嶋敬太郎

視聴覚教育センター

施設長 斎藤秀雄

〔制定した規則〕

・教育委員会会議規則

・規則等の公布に関する規則

・事務局の組織等に関する規則

・教育長に対する事務委託規則

・視聴覚教育センター運営規則

・教育委員会公印規程

“アラ不思議”

キュウリの実に葉が

先月中頃、蔵新田の小野松男さん方（三立整備工場）のわずかに一坪のミニ家庭菜園から「実に葉っぱのついたキュウリ」がとれ、近所の評判となりました。

このキュウリは長さ十八センチ、葉の長さは六センチで、四月中旬、ポットに入れた五本の苗を定植した中の一本から出たもの。

小野さん方では数年前から自家用野菜を作っているが、こんなことは初めてとびっくり、隣近所の人達も「まさかそんなことはないだろう」と信用しなかったが、実物を見て口をアングリ。

奥さんの行子さんは「花の咲

住宅金融公庫（便り）

マイホーム建設資金（年金被保険者住宅資金）の融資

住宅金融公庫では、年金福祉事業団の委託を受けて年金被保険者への還元融資も行っています。この融資の特色は、公庫資金との併せ貸しができるということです。

その主な融資条件を紹介いたしますのでご利用下さい。

一、申し込みできる方

(1) 自分が住むための住宅を新築、購入または増改築される方

(2) 厚生年金保険、船員保険及び国民年金の被保険者で被保険者期間が三年以上ある方

二、融資の限度額

○厚生年金の被保険者・船員保険の被保険者・被保険者期間の年限により融資額

一、返済期間

(1) 新築又は購入

○木造、不燃構造—二十五

年以内

○簡易耐火構造・耐火構造—三十年以内

(2) 増改築—十年以内

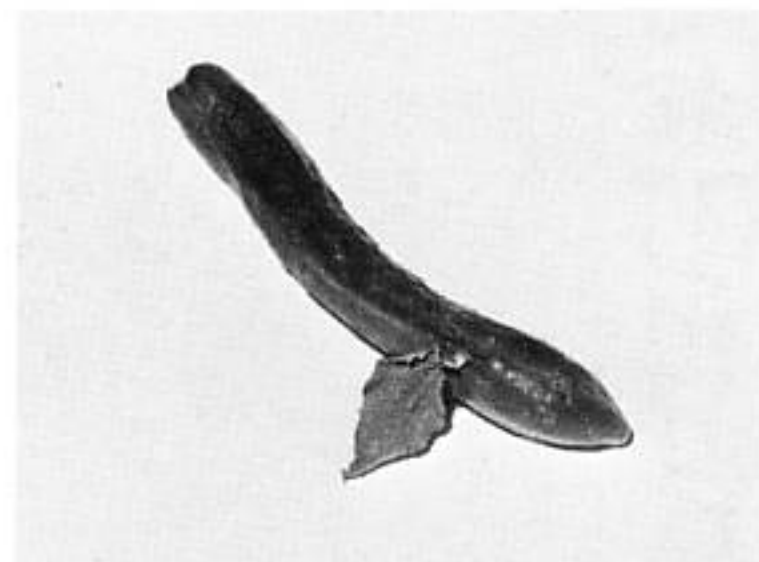
五、返済方法

元金と利息を合計した額が、毎月一定となるように返済していただきます。

こんなふうになるなんて」といささかとまどい気味。

本荘農業指導センターの横田普及技術専門員によると、他に例がないわけではなく、一種の突然変異でしようとのこと。

この珍品を一目みようという近所の人で、小野さん宅は数日大忙し。当の松男さんは「めずらしいことで近所の評判にはなったものの、実際気持ちのいいものではないですね」と複雑な心境を語っていました。



実に葉のついたキュウリ

おじいちゃん
おばあちゃん

昔話に花咲く

例年より三カ月早い敬老会

今年の町の敬老会は昨年より約三カ月早い六月二十九日に、町開発センターで行われました。

これは毎年九月、各地区ごとに開催されていたのですが、開発センターの建設を機会に全町のお年寄りが一堂に会し、旧交を温めてもらおうと時期を早めて行ったものです。

町ではこの敬老会に、七十才以上のおじいさん、おばあさん四五一名を招待しましたが、問

題となったのが往復の交通手段。

これは一長年社会のために尽くしてくれたおじいさん、おばあさんのためなら一と町連合青年会（小野保会長）の会員達が地域分担をして、家から開発センターまでの送迎奉仕をかつて出難間解決。

お陰で全体の六十七名に当たる三〇八名の方が出席、冷房のきいたセンターで町連合婦人会員らの心のこもったもてなしで、

楽しい一日を過ごしました。

会では町長が、長年にわたって東田利をささえてきたご苦労に対する感謝とねぎらいのことばを述べるとともに、長寿のお祝いを述べ、続いて、町議会議長、由利福祉事務所長からお祝いのことばがありました。

このあと、米寿を迎えられた三名の方に敬老祝金が、今年八十才になられた方二十四名には額入りの記念肖像写真と記念品が、また、結婚五十年を迎えられた金婚のご夫婦七組に対し祝状と記念品が、さらには親子で敬老者になられた方一組に祝状と記念品が、それぞれ町長から贈られたほか、県からも七十五歳以上の方全員に敬老祝金が贈られました。

つづいて、町連合婦人会員らの接待で料理やお酒をいただき、孫あるいはひこ孫にあたる町内各小学校の子どもたちの歌やうき、器楽演奏に目を細め見聞きいっていました。

また、町民謡同好会による歌や踊りにも手拍子を打ちながらそれぞれ酒を飲み交し、会場のあちこちに昔話の花を咲かせていました。

午後二時過ぎ「……来年もまた会おう……」と再会を約し、青年会員の車で家路につきまし



長寿を祝って町長から祝状が贈られる

西									
横綱	畑	山	要	蔵	93	玉新田			
〳	佐々木	ミ	ネ		91	大 琴			
〳	小 松	キ	ミ		90	下小路			
関脇	長谷山	キ	ヨ		87	下 通			
〳	佐々木	ノ	エ		87	下 通			
小結	佐 藤	ハル	エ		86	八日町			
〳	小 松	キ	ヨ		86	高戸屋			
〳	遠 藤	太	吉		86	新 処			
前頭	菅 原	鶴三郎			85	八日町			
〳	遠 藤	キ	ノ		85	小 倉			
〳	畑 山	タツノ			85	大 琴			
〳	長谷山	平 八			84	宇戸坂			
〳	佐 藤	マサエ			84	中 通			
〳	高 橋	春 吉			84	寺 田			
〳	佐 藤	浅 吉			84	祝 沢			
〳	阿 部	佐 平			84	蔵			
〳	大 庭	マチノ			84	舟 木			

蒙御免東田利町長長寿番付

東									
横綱	佐々木	ユキノ		96	大 琴				
〳	鈴 木	錦 一		92	沼				
〳	晶 山	子之吉		90	大吹川				
〳	佐 藤	アサエ		90	黒 瀨				
大関	小 松	ハルノ		88	下 通				
関脇	佐 藤	治吉郎		87	寺 田				
〳	小 野	マツエ		87	宿				
小結	太 田	ハルノ		86	大吹川				
〳	佐 藤	アキノ		86	五海保				
〳	大 場	イワノ		86	宮ノ前				
前頭	鈴 木	寅次郎		85	袖 山				
〳	阿 部	清 一		85	横 渡				
〳	梅 津	ヤ ス		85	大 琴				
〳	高 橋	要太郎		84	下小路				
〳	高 橋	チヨノ		84	上 通				
〳	小 松	スハノ		84	中 通				
〳	阿 部	トヨエ		84	横 渡				
〳	阿 部	徳 助		84	岩 館				
〳	遠 藤	徳太郎		84	新 処				
〳	小 野	勇 作		84	高 屋				

今回出席したあるおばあさんは「……去年までは地区の人とか会えなかったが、今年は何十年ぶりであうことのできた人もいてとてもなつかしく、うれしかった。また来年も元気で参加したい……」と上気した顔で話していました。

一組の親子敬老者

ところで、今年のホットなニュースの中の一つに、一組の親子敬老者がいます。

これは下小路の小松キミさん（九十歳）と三治郎さん（七十歳）で、会には三治郎さんが都合で出席出来ませんでした。キミさんは元気に参加、町長から記念品が贈られたあと、

子供たちの歌やゆうぎを楽しそうに見入っていました。一口に親子敬老者と言っても、なかなかいないものといわれます。今後とも健康には十分に注意され、お二人とも長生きしていただきたいと同時に、今後親子敬老者が多く出るよう祈るものです。

七十代にも

青春はある

先ごろ新聞、テレビ等で、秋田県人の平均寿命は男子で七十一・三七歳、女子で七七・七八歳、全国平均との格差一歳前後に詰まった、と報じていました。昨今における社会、生活環境

の変化で、我が国の高齢化社会はヨーロッパの倍以上の早さで進んでいると言われ、それに対する老人福祉の充実が叫ばれています。誰れしもが間違いなく年をとっていくものです。これを機会に町民一人一人が、生きがいのある老後のくらしはどうあればよいか考えてみるのもいいものです。

ある人は「……青春とは若者だけのことでない。十代には十代の、二十代には二十代の青春があるのはもちろんだが、四十代には四十代の、七十代には七十代なりの青春がある……」といっています。お年寄りは郷土を築きあげてきた、まさに「宝」です。健康

新しい郷土づくり活動は 本荘市・由利郡公民館大会開く

には十分注意して百数十代の青春を楽しむよう長生きしてもらいたいと祈るものです。
金婚を迎えられたご夫婦は次のとおりです。(53・9・15現在)
佐藤 作蔵 71歳 黒 淵
チエ 68歳 黒 淵
畠山 友蔵 78歳 横 小路
スミ 68歳 横 小路

この大会は、最近の急速な社会の変化に対応する公民館活動の在り方を考え、地域の独自性を生かした歴史を貫く、新しい郷土づくり活動はどうか、その方法を探ろうというものです。

第十四回 本荘市・由利郡公民館大会が七月七日、町開発センターで開催されました。
この大会は、最近の急速な社会の変化に対応する公民館活動の在り方を考え、地域の独自性を生かした歴史を貫く、新しい郷土づくり活動はどうか、その方法を探ろうというものです。

阿部 明	70歳	横 渡
笹本 コシ	68歳	蔵
道好 チヨ	68歳	蔵
太田 勇一	70歳	蔵 新田
小松 慎一	67歳	蔵 新田
ナミエ	68歳	黒 沢
長谷山 専太郎	70歳	舟 木
ハルオ	69歳	舟 木



活発な意見が交換されたパネル討議

すき間もない。公民館はわれわれ青年にも勉強と活動の場を提供することを考えてほしい」と述べ、これに対して参加者からは「勉強する気があるなら、自ら進んで公民館活動に入っていくべきではないか」という意見が出されました。
この他、各パネラーからは自らの体験や具体的な実践例をもとにした意見が述べられ、参加者からはそれに対する質問や、意見が出されるなど、活発な討議が行われました。

このあと、郷土研究家の野添憲治氏による「秋田の生んだ人々」と題する記念講演を聴き、町民謡同好会や町踊りの会、蔵分館創作民舞学級のアトラクションを見、午後四時過ぎ大会を終えました。

白熱したゲームを展開 好天に恵まれた町球技大会

春の町民スポーツ祭としてすっかり定着した町球技大会も今年で七回目を迎え、前日までぐずついた天気もカラリと晴れ上がった六月二十五日、台山グラウンドなど三会場で開催されました。

うに實際目で見える形となつて現れるものではありません。それだけにむずかしく、根深いものがあるといわれます。住民の生活と地域文化の向上をめざして人づくり、生活づくり、郷土づくりに努める関係者の、今後の活躍が期待されます。



このボールのゆくえが勝敗を決める
(玉米B対法内A)

- 結局、決勝戦は住吉Aチームと玉米Bチームで行われ、一進一退、フルセットの末、住吉Aに凱歌があげられました。
- 勝負に勝ち負けはあつて仕方ないことですが、町民の体力づくりと親睦を図ることを目的に始められたこの大会、初期の
- 〔ゲートボール・婦人会対抗〕
①宿B ②宿A
 - 〔九人制バレー・男子〕
①住吉A ②玉米B
 - 〔九人制バレー・女子〕
①法内 ②老方
 - 〔ソフトボール〕
①老方A ②玉米A
 - 〔ゲートボール・老ク対抗〕
①田代福寿会A ②蔵壮寿会B
 - 〔四十才以上分館対抗同〕
①宿A ②玉米B
 - 〔部落対抗家庭バレー〕
①蔵新田A ②蔵A

目標を見失わず、増々発展することを期待するものです。
尚、各種目事の上位入賞チームには、大日向商會代表大日向貞弘氏から副賞の寄贈があり、喜ばれました。

小さな胸に大きな思い出

台山で小学校宿泊訓練



↑これは友情の火…町内各小学校から集った3日間だけの台山小学校5年生の友情は、この火のもとに強く結ばれた。



↑赤く燃えるたいまつが小さな胸に大きな思い出を残した。



↓アンコールの声で再演する女性仮面ライダーV3。

「同じ釜の飯を食う集団生活を通し、東田利の自然の中にとけこみ、自分のかくれたよさを見つけ出すとともに何事にも全力でぶつかる態度や協調性を身につけよう」と七月十七日から十九日まで東中寄宿舎など台山周辺で小学校宿泊訓練が行われました。

二日目には、「郷土を知ろう」ということでスクールバス、福祉バスに分乗し、智者鶴から泡ノ瀧、黒瀧、石高、田代、館合を通って老方までバス見学、途中、施設見学として遠藤光昭さん（下小路）の肥育牛舎や坂爪工場、マルテ・秋田工場に行きました。

天に向って赤々と燃える神聖な火のまわりでは六、八人の仲間がともに相談し考えた十一班のスタンツが行われ、特に評判のよかった二つについてはアンコールの声が出、再度、演ずる一幕もあり、明るい子どもたちの声が夜の台山一帯に響いていました。

町内企業を見学する子供たちの目は真剣そのもの。



三日間、宿小も住吉小もない台山小学校五年生として規則正しい集団生活を経験した子どもたちの胸の奥には、小さいながらも何かキラリとひかる思い出が刻みこまれたようでした。

一滴

ビールやアイスクリームは夏の季節ですが、最近では暖房の普及で、冬でもけっこう売れています。ビール消費のピークは、やはり七月ですが、忘年会の十二月にも、その三分の二ほどが飲まれます。

冷蔵庫の普及でビールの設計も変わりました。ビールが最もおいしい温度を、昔、井戸水で冷やしていた時代は摂氏十六度前後にしていたことが、今は八、十二度になっているという。日本人のビールの一人当り消費量は昨年で五十八本、ずいぶん飲むようですが、世界では三十位くらい。トップクラスのルクセンブルグあたりになると三百本以上。零歳児から老人まで含めての統計だからすごいものです。

さて、今年のビール業界は「生ビール合戦」になりそうです。従来、生ビールは二十リットルが普通でしたが、今年は五十リットルものが各社から発売され、小さな店でも生ビールを扱いやすくなったからです。「ところで今年の見通しは？」と聞きますと、あるメーカー氏「ビール業は工業でなく、農業です。お天気次第です。すからねえ」とのこと。

福祉の窓

社会参加

には常に勉強が大事

保健推進員研修会

小畑好子先生が講演



語り合うように講演する
小畑好子先生

七月六日、地域住民の健康づくりのための核となつて活躍している町保健推進員会（畑山マサエ会長 百二十九名）の研修会が開発センターで開催され、推進員九十名余りが参加、盛会をきわめました。

午後一時からの同研修会ではまず小松町長・畑山会長のあいさつが行われ、続いて畠山アイ子副会長から、さきに参加した母子保健地域組織関係者交流会の報告がなされました。

小休止のあと秋田県結核予防婦人会の小畑好子会長による「社会参加と婦人の役割」と題する特別講演が行われました。

小畑会長の講演は、センターの広い集会室にもかかわらずマイクを用いないで、積極的な社会参加を果たすためには日常の

勉強が大切であり、工夫しながら実行することである……と直接語りかけたもので、参加者に大きな感動を与えていました。

以下、小畑会長の講演の骨子ですが、終了後、町では小畑会長作詞の「げんきだねぶし（お富さん節）」を染め込んだ「のれん」を各推進員に配り今後の活動の一助としてもらうことにしました。

講演骨子

……社会参加するには、ケチな人間、ヤキモチやきな人間ではこまる。また、忙しいときはグチをこぼさず、役に立っているのだと感謝の気持ちを持つことが大切。自分のことだけしてはいけません。社会参加とはいえない。

人命には限りがある。されど奉仕の道には限りがない。国

四級程度はこの制度の二級に該当します。

このほか、療育手帳（児童相談所又は精神薄弱者更生相談所で精神薄弱者と判定された者に交付される）A所持者も該当します。また、身体障害と精神の

制度の目的

この制度は、精神又は身体に障害を有する児童について特別児童扶養手当を支給して、障害児の福祉を増進しようとするものです。

支給要件

障害児の父若しくは母がその障害児を監護するとき、又は父母がいらない等で父母以外の者が障害児を養育する場合に手当が支給されます。

手当の額

手当は月を単位として支給されるものであり、障害児一人につき、一級該当の場合二万四千八百円で二級該当の場合

合は一万六千五百円が支給されます。

手当の支給月

毎年四月・八月・十二月（請求によって十一月）の三回に分けて、この月の十一日以降に支給されます。

特別児童扶養手当制度

障害児童の養育に介護手当

障害児とは

この制度でいう障害児とは、二十歳未満の障害者であり、身体障害者手帳の一級及び二級程度はこの制度の一級に該当し、同じく身体障害者手帳三級及び

障害が重複する場合で、その状態が一級並びに二級と同程度以上と認められる場合も該当します。

国民年金制度への移行

この制度は、国民年金法等

に関する法律のうちの特別児童扶養手当の支給に関する法律によって、二十歳未満の児童のみを対象としているものであり、二十歳に達する日の属する月までの分がこの制度によって手当が支給されます。二十歳に達すると国民年金法の適用を受けることになり障害福祉年金の裁定請求を出すこととなります。

障害福祉年金の額は特別児童扶養手当と同額ですから、単なる適用法の移行と考えてもよいものです。（この場合年金保険料は免除される。）



を愛し、人を愛し、土地を愛するとともに、勤労の精神と経験つまり老人をもっとも大切にしなければならぬ……。

「げんきだねぶし」を染めたのれん



消防力の充実に

自動車ポンプ他購入

消防力の充実に図り、有事の際は万全な体制で望もうと先ごろ、自動車ポンプ一台、小型動力ポンプ付積載車二台、小型動力ポンプ二台を購入し、その入魂式を役場除雪車庫前で行いました。

式終了後、自動車ポンプは第五分団（大琴）に、小型動力ポンプ付積載車は第二（館合）、第四（蔵）分団に、小型動力ポンプは第三（寺田）、第五（舟打場）分団に配置されました。町では今年度このほかに、防



火用水槽四基の新設も行ない、より一層の消防力充実に努めることにしています。

8月1日は「水の日」

～水を大切に使う～

明るいくらしを～

◇水は無尽蔵なものではありません



町の概要	
人口総数	6,455人
うち男	3,170人
うち女	3,285人
世帯数	1,473戸
面積	148.51km ²
(53.7.1)	

自力でゼミハウス設置

知識を研ぎ合う場に

このほど役場除雪車庫東側にさび止め塗装された大型廃バスが横づけされました。

実はこの廃バス、町農業近代化ゼミナール(阿部弥松会長が、会員のより強い団結と、充実したゼミ活動を目指して羽後交通から譲り受け、役場の許可を得て同所に設置したものです。

阿部会長は「……このまま使用するには多少無理があるので内外部を会員の手で改装することにしています。そのあと机や書庫、土壌実験器具などもとり揃えたい。まあゼミハウスとも言いばいいでしょうか。会員同志の親睦と、お互いの知識を研ぎ合う場としたいです。



ゼミハウス到着を拍手で祝う会員

また、町内の若い同世代の農業後継者により多くゼミに加入してもらいたい一諸に活動したいものです」と語っていました。

このあとの維持管理は、ゼミ開催で得た利益等でまかなっていくという。

東由利に生きる青年が自分達だけの手で設置したこのハウスと、これから巣立っていく若者の成長を暖かく見守っていききたいものです。

第二十回社会人野球大会

二十五チームで十六日から

お盆休みの恒例行事となつてゐる町社会人野球大会も今年で二十回を数え、八月十六日から十八日の三日間にわたつて、町民グラウンド、台山グラウンドを会場に開催されます。

人間でいえば成人を迎えたこの大会を記念して、主催の町野球協会(小松民三郎会長)では社会人野球に貢献のあった方々

に感謝状と記念品を贈ることにしています。

記念すべきこの大会の覇権をかけて昨年より三チーム多い二十五チームが出場、激しい熱戦が期待されます。

対戦組み合わせは次のとおり。

※ 尚、雨天の場合は順延となります。



献血功労者八名に

日赤特別社員に授与

十回以上の献血功労者として先ごろ、次の方々に日本赤十字社から「特別社員」の称号とそれを章する門札が授与されました。

- 三浦 毅さん (45歳) 上通
- 斎藤政子さん (33歳) 家の下
- 小野暢子さん (25歳) 下通
- 佐々木邦夫さん (40歳) 大琴
- 阿部弘章さん (38歳) 蔵

お詫びと訂正

七月一日発行二八〇号の八ページ慶弔欄の「誕生おめでとう」の記事中「小松まもり 田代 佳和 長男」となっていますが「長女」の誤りでした。

お詫びして訂正します。

税の作文募集

高校生のみなさんから「税の作文」を募集しています。税について、日ごろ考えていることや意見など、税に関するものであればなんでも結構です。

ふるって応募してください。

＜応募資格＞ 高校生であればだれでも応募できます。

＜テーマ＞ ○税金や税務署についての意見 ○税金について学校の教わったことについての意見 ○税について父兄の体験談や人の話を聞いて、それに対する自分の考えなど。

＜応募要領＞ 一人一編、三千字以内で、末尾に住所、氏名、性別、学校名、学年、学校の所在地を書き、九月五日(火)まで本庄税務署(本庄市裏尾崎町二八)へお送りください。

＜表彰＞ 優秀作文に国税庁長官賞、佳作には国税局長賞を贈呈します。

詳しいことは、本庄税務署総務課(電話〇一八四二二二二三三五)へお問い合わせ下さい。

新・増改築される方は「電話線の配管」もお忘れなく

「配管設備がない」と…新しい住宅の天井や壁に穴をあけたり、柱や床などに「キズ」がつくこともあります。家の中で電話線がむき出しにしていたのでは、せっかくのきれいなお部屋もだいたいです。

また、電話の種類によって配管の太さも違いますから、電気

工事業者が電話局へご相談下さい。

◇ 電話機の移転申し込みは、計画されたらお早く電話局へ予約して下さい。

東由利電報電話局



誕生

- 阿部 毅敏 岩館 敏夫 長男
- 佐藤 一祝 袖山 利一 長男
- 佐藤 ゆみ 中通 順一 長女
- 島山真由子 地下沢 勉 長女
- 佐藤 香織 湯出野 久穂 長女
- 遠藤 和幸 小倉 幸男 長男



結婚

- 佐藤 清一 新 処
- 渡辺 増子 時雨山
- 浅田 誠 大 琴
- 阿部 江美子 岩 館
- 小松 徳行 新 町
- 大日向 政子 寺 田
- 上野 幸男 岩 手
- 小松 和子 山 崎

・お悔み申し上げます

阿部イサ子 岩館 37歳

高沢マツノ 葎沢 79歳

食品衛生週間

(8月7日～8月13日)

衛生の二字を入れて

我家は健康

本庄保健所